

【表紙】

【発行登録追補書類番号】 24 - 関東83 - 2

【提出書類】 発行登録追補書類

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年3月7日

【会社名】 阪急阪神ホールディングス株式会社

【英訳名】 Hankyu Hanshin Holdings, Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 角 和夫

【本店の所在の場所】 大阪府池田市栄町1番1号
大阪市北区芝田一丁目16番1号（本社事務所）

【電話番号】 06（6373）5154

【事務連絡者氏名】 グループ経営企画部 部長（経理担当） 東口 和哉

【最寄りの連絡場所】 大阪府池田市栄町1番1号
大阪市北区芝田一丁目16番1号（本社事務所）

【電話番号】 06（6373）5154

【事務連絡者氏名】 グループ経営企画部 部長（経理担当） 東口 和哉

【発行登録の対象とした募集有価証券の種類】 社債

【今回の募集金額】 10,000百万円

【発行登録書の内容】

| | |
|-------------------|------------------|
| 提出日 | 平成24年6月15日 |
| 効力発生日 | 平成24年6月23日 |
| 有効期限 | 平成26年6月22日 |
| 発行登録番号 | 24 - 関東83 |
| 発行予定額又は発行残高の上限（円） | 発行予定額 220,000百万円 |

【これまでの募集実績】

（発行予定額を記載した場合）

| 番号 | 提出年月日 | 募集金額（円） | 減額による訂正年月日 | 減額金額（円） |
|---------------|-------------|--------------------------|------------|---------|
| 24 - 関東83 - 1 | 平成24年10月18日 | 10,000百万円 | - | - |
| 実績合計額（円） | | 10,000百万円 (10,000百万円) | 減額総額（円） | なし |

（注）実績合計額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額（下段（ ）書きは発行価額の総額の合計額）に基づき算出しております。

【残額】（発行予定額 - 実績合計額 - 減額総額） 210,000百万円
（210,000百万円）

（注）残額は、券面総額又は振替社債の総額の合計額（下段（ ）書きは発行価額の総額の合計額）に基づき算出しております。

（発行残高の上限を記載した場合）

該当事項はありません。

【残高】(発行残高の上限 - 実績合計額 + 償還総額 - 減額総額) - 円

【安定操作に関する事項】 該当事項はありません。

【縦覧に供する場所】 阪急阪神ホールディングス株式会社本社事務所
(大阪市北区芝田一丁目16番1号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社大阪証券取引所
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

(注) 印は法定の縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜のため任意に設定したものです。

第一部【証券情報】

第1【募集要項】

1【新規発行社債（短期社債を除く。）】

| | |
|------------------|--|
| 銘柄 | 阪急阪神ホールディングス株式会社第45回無担保社債 (阪急電鉄株式会社及び阪神電気鉄道株式会社保証付) |
| 記名・無記名の別 | - |
| 券面総額又は振替社債の総額(円) | 金10,000百万円 |
| 各社債の金額(円) | 金1億円 |
| 発行価額の総額(円) | 金10,000百万円 |
| 発行価格(円) | 各社債の金額100円につき金100円 |
| 利率(%) | 年0.589% |
| 利払日 | 毎年3月14日及び9月14日 |
| 利息支払の方法 | <p>1. 利息支払の方法及び期限</p> <p>(1) 本社債の利息は、本社債の払込期日の翌日から償還すべき日（以下償還期日という。）までこれをつけ、平成25年9月14日を第1回の支払期日としてその日までの分を支払い、その後毎年3月14日及び9月14日の2回に各々その日までの前半か年分（年間支払額の半額）を支払う。ただし、半か年に満たない期間につき利息を計算するときは、年間支払額の半額を、その半か年に満たない期間が属する半か年の日割りでこれを計算する。</p> <p>(2) 利息を支払うべき日が銀行休業日に当たるときは、その前銀行営業日に支払を繰り上げる。</p> <p>(3) 償還期日後は利息をつけない。</p> <p>2. 利息の支払場所</p> <p>別記(注)12.「元利金の支払」記載のとおり。</p> |
| 償還期限 | 平成32年3月13日 |
| 償還の方法 | <p>1. 償還金額</p> <p>各社債の金額100円につき金100円</p> <p>2. 償還の方法及び期限</p> <p>(1) 本社債の元金は、平成32年3月13日にその総額を償還する。ただし、本社債の買入消却に関しては、本項第(3)号に定めるところによる。</p> <p>(2) 償還期日が銀行休業日に当たるときは、その前銀行営業日に支払を繰り上げる。</p> <p>(3) 本社債の買入消却は、本社債の払込期日の翌日以降、別記「振替機関」欄に定める振替機関が規定する業務規程その他の規則に別途定められる場合を除き、いつでもこれを行うことができる。</p> <p>(4) 別記(注)5.「繰上償還に関する特約」に定める事由に該当した場合には、本社債総額を本欄第1項に定める償還金額にて別記(注)5.「繰上償還に関する特約」の規定に従い繰上償還する。</p> <p>3. 償還元金の支払場所</p> <p>別記(注)12.「元利金の支払」記載のとおり。</p> |
| 募集の方法 | 一般募集 |
| 申込証拠金(円) | 各社債の金額100円につき金100円とし、払込期日に払込金に振替充当する。申込証拠金に利息はつけない。 |
| 申込期間 | 平成25年3月7日 |
| 申込取扱場所 | 別項引受金融商品取引業者の本店及び国内各支店 |
| 払込期日 | 平成25年3月14日 |

| | |
|----------------|---|
| 振替機関 | 株式会社証券保管振替機構 東京都中央区日本橋茅場町二丁目1番1号 |
| 担保 | 本社債には担保は付されておらず、また本社債のために特に留保されている資産はない。 |
| 担保の保証 | 1. 阪急電鉄株式会社及び阪神電気鉄道株式会社（以下併せて連帯保証人という。）は、本社債について当社が負担する元金及び利息の支払にかかわる債務につき連帯保証人となり、当社と連帯して債務を負担する（以下連帯保証債務という。）。 2. 社債権者は、あらかじめ当社に対し何らの通知もしくは請求をすることなしに、又は当社の資産に対し法的手段を取ることをなしに、連帯保証人に対して連帯保証債務の履行請求を行うことができる。 |
| 財務上の特約（担保提供制限） | 連帯保証人は、当社もしくは連帯保証人が国内で既に発行した、又は国内で今後発行する他の無担保社債（ただし、別記「財務上の特約（その他の条項）」欄で定義する担付切換条項が特約されている無担保社債を除く。）のために担保権を設定する場合には、本社債のためにも担保付社債信託法に基づき、同順位の担保権を設定する。 |
| 財務上の特約（その他の条項） | 本社債には担付切換条項等その他の財務上の特約は付されていない。担付切換条項とは純資産額維持条項等当社もしくは連帯保証人の財務指標に一定の事由が生じた場合に期限の利益を喪失する旨の特約を解除するために担保権を設定する旨の特約又は当社もしくは連帯保証人が自らいつでも担保権を設定することができる旨の特約をいう。 |

（注）1. 信用格付業者から提供され、もしくは閲覧に供された信用格付

（1）株式会社日本格付研究所（以下JCRという。）

本社債について、当社はJCRからA（シングルA）の信用格付を平成25年3月7日付で取得している。

JCRの信用格付は、格付対象となる債務について約定どおり履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。

JCRの信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、JCRの信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。JCRの信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。

JCRの信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、JCRの信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体及び正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的又はその他の理由により誤りが存在する可能性がある。

本社債の申込期間中に本社債に関してJCRが公表する情報へのリンク先は、JCRのホームページ

（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付情報」の「当月格付」（http://www.jcr.co.jp/top_cont/rat_info02.php）に掲載されている。なお、システム障害等何らかの事情により情報を入手することができない可能性がある。その場合の連絡先は以下のとおり。

JCR：電話番号03 - 3544 - 7013

（2）株式会社格付投資情報センター（以下R&Iという。）

本社債について、当社はR&IからBBB+（トリプルBプラス）の信用格付を平成25年3月7日付で取得している。

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定どりに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見である。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではない。R&Iの信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではない。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていない。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じているが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではない。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがある。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがある。

本社債の申込期間中に本社債に関してR&Iが公表する情報へのリンク先は、R&Iのホームページ

（<http://www.r-i.co.jp/jpn/>）の「ニュースリリース/クレジットコメント」及び同コーナー右上の「一覧はこちら」をクリックした「格付ニュース一覧」に掲載されている。なお、システム障害等何らかの事情により情報を入手することができない可能性がある。その場合の連絡先は以下のとおり。

R&I：電話番号03 - 3276 - 3511

2. 社債、株式等の振替に関する法律の規定の適用

本社債は、その全部について社債、株式等の振替に関する法律（以下社債等振替法という。）第66条第2号の規定に基づき社債等振替法の適用を受けることとする旨を定めた社債であり、社債等振替法第67条第2項に定める場合を除き社債券を発行することができない。

3. 社債管理者の不設置

本社債には会社法第702条ただし書に基づき、社債管理者は設置されておらず、社債権者は自ら本社債を管理し、又は本社債に係る債権の実現を保全するために必要な一切の行為を行う。

4. 財務代理人並びに発行代理人及び支払代理人

- (1) 当社は、株式会社三菱東京UFJ銀行（以下財務代理人という。）との間に本社債財務代理契約を締結し、財務代理人に本社債の財務代理事務を委託する。
- (2) 別記「振替機関」欄記載の振替機関の振替業に係る業務規程に基づく本社債の発行代理人業務及び支払代理人業務は、財務代理人がこれを取扱う。
- (3) 財務代理人は、社債権者に対していかなる義務又は責任を負わず、また社債権者との間にいかなる代理関係又は信託関係も有していない。
- (4) 財務代理人を変更する場合には、当社は本（注）7. に定める方法により公告する。

5. 繰上償還に関する特約

当社又は連帯保証人のいずれか一方が次の事由に該当した場合には、当該事由発生のときより30日後（銀行休業日のときにはその前銀行営業日）に本社債総額につき繰上償還を行う。この場合には、繰上償還の金額及び期日その他必要事項を本（注）7. に従って公告する。

- (1) 当社が次の事由に該当した場合。
 - (イ) 本社債以外の社債について期限の利益を喪失し、又は期限が到来してもその弁済をすることができないとき。
 - (ロ) 社債を除く借入金債務について期限の利益を喪失したとき、もしくは当社以外の社債又はその他の借入金債務に対して当社が行った保証債務について履行義務が発生したにもかかわらず、その履行をすることができないとき。ただし、当該債務の合計額（邦貨換算後）が10億円を超えない場合は、この限りではない。
 - (ハ) 破産手続開始、民事再生手続開始もしくは会社更生手続開始の申立をし、又は取締役会において解散（合併の場合を除く。）の議案を株主総会に提出する旨の決議を行ったとき。
- (二) 破産手続開始、民事再生手続開始もしくは会社更生手続開始の決定、又は特別清算開始の命令を受けたとき。
- (2) 連帯保証人が次の事由に該当した場合。
 - (イ) 連帯保証人が別記「財務上の特約（担保提供制限）」欄の規定に違背したとき。
 - (ロ) 連帯保証人が発行する社債（既発行社債を含む。）について期限の利益を喪失し、又は期限が到来してもその弁済をすることができないとき。
 - (ハ) 社債を除く連帯保証人の借入金債務について期限の利益を喪失したとき、もしくは本社債以外の社債（既発行社債を含む。）又は連帯保証人以外の借入金債務に対して連帯保証人が行った保証債務について履行義務が発生したにもかかわらず、その履行をすることができないとき。ただし、当該債務の合計額（邦貨換算後）が10億円を超えない場合は、この限りではない。
 - (二) 破産手続開始、民事再生手続開始もしくは会社更生手続開始の申立をし、又は取締役会において解散（合併の場合を除く。）の議案を株主総会に提出する旨の決議を行ったとき。
 - (ホ) 破産手続開始、民事再生手続開始もしくは会社更生手続開始の決定、又は特別清算開始の命令を受けたとき。

6. 期限の利益喪失に関する特約

当社及び連帯保証人は、次の各事由に該当したときは直ちに本社債について期限の利益を失う。

- (1) 当社及び連帯保証人が別記「償還の方法」欄第2項の規定に違反したとき。
- (2) 当社及び連帯保証人が別記「利息支払の方法」欄第1項の規定に違反し、7日を経過してもこれを履行することができないとき。
- (3) 本(注)5.にかかげる事由に当社、連帯保証人ともに該当したとき。

7. 社債権者に通知する場合の公告の方法

本社債に関して社債権者に通知をする場合の公告は、法令に別段の定めがあるものを除いては、当社の定款所定の電子公告によりこれを行う。ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、当社の定款所定の新聞紙(全国版)並びに東京都及び大阪市において発行される各1種以上の新聞紙(重複するものがあるときには、これを省略することができる。)によりこれを行う。

8. 社債要項の公示

当社は、その本店に本社債の社債要項の謄本を据え置き、その営業時間中、一般の閲覧に供する。

9. 社債要項の変更

- (1) 本社債の社債要項に定められた事項(ただし、本(注)4.第(1)号を除く。)の変更は、法令の定めがあるときを除き、社債権者集会の決議を要する。ただし、社債権者集会の決議は、裁判所の認可を受けなければ、その効力を生じない。
- (2) 裁判所の認可を受けた前号の社債権者集会の決議は、本社債の社債要項と一体をなすものとする。

10. 社債権者集会に関する事項

- (1) 本社債及び本社債と同一の種類(会社法第681条第1号に定めるところによる。)の社債(以下本種類の社債と総称する。)の社債権者集会は、当社がこれを招集するものとし、社債権者集会の日の3週間前までに本種類の社債の社債権者集会を開く旨及び会社法第719条各号所定の事項を本(注)7.に定める方法により公告する。
- (2) 本種類の社債の社債権者集会は大阪市においてこれを行う。
- (3) 本種類の社債の総額(償還済みの額を除く。また、当社が有する本種類の社債の金額の合計額は算入しない。)の10分の1以上に当たる本種類の社債を有する社債権者は、当社に対し本種類の社債に関する社債等振替法第86条第3項に定める書面を提示したうえ、社債権者集会の目的である事項及び招集の理由を記載した書面を当社に提出して、本種類の社債の社債権者集会の招集を請求することができる。
- (4) 会社法第4編第3章(社債権者集会)及び第7編第2章第7節(社債発行会社の弁済等の取消しの訴え)における発行会社の規定は第731条第2項、第735条、第741条第1項及び第3項並びに第742条を除きこれを連帯保証人に準用する。

11. 費用の負担

以下に定める費用は当社の負担とする。

- (1) 本(注)7.に定める公告に関する費用
- (2) 本(注)10.に定める社債権者集会に関する費用

12. 元利金の支払

本社債に係る元利金は、社債等振替法及び別記「振替機関」欄に定める振替機関が規定する業務規程その他の規則に従って支払われる。

2【社債の引受け及び社債管理の委託】**(1)【社債の引受け】**

| 引受人の氏名又は名称 | 住所 | 引受金額 (百万円) | 引受けの条件 |
|-----------------------|-------------------|---------------|--|
| 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 | 東京都千代田区丸の内二丁目5番2号 | 3,800 | 1. 引受人は本社債の全額につき共同して買取引受を行う。 2. 本社債の引受手数料は各社債の金額100円につき金40銭とする。 |
| 大和証券株式会社 | 東京都千代田区丸の内一丁目9番1号 | 2,400 | |
| SMB C日興証券株式会社 | 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号 | 1,800 | |
| みずほ証券株式会社 | 東京都千代田区大手町一丁目5番1号 | 1,200 | |
| 野村證券株式会社 | 東京都中央区日本橋一丁目9番1号 | 800 | |
| 計 | | 10,000 | |

(2)【社債管理の委託】

該当事項なし

3【新規発行による手取金の使途】**(1)【新規発行による手取金の額】**

| 払込金額の総額(百万円) | 発行諸費用の概算額(百万円) | 差引手取概算額(百万円) |
|--------------|----------------|--------------|
| 10,000 | 60 | 9,940 |

(2)【手取金の使途】

上記の差引手取概算額9,940百万円は、全額を平成25年3月末までに借入金返済資金に充当する予定であります。

第2【売出要項】

該当事項なし

第3【第三者割当の場合の特記事項】

該当事項なし

第4【その他の記載事項】

該当事項なし

第二部【公開買付けに関する情報】

第1【公開買付けの概要】

該当事項なし

第2【統合財務情報】

該当事項なし

第3【発行者（その関連者）と対象者との重要な契約】

該当事項なし

第三部【参照情報】

第1【参照書類】

会社の概況及び事業の概況等金融商品取引法第5条第1項第2号に掲げる事項については、以下に掲げる書類を参照すること。

1【有価証券報告書及びその添付書類】

事業年度 第174期（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）平成24年6月15日関東財務局長に提出

2【四半期報告書又は半期報告書】

事業年度 第175期第1四半期（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）平成24年8月13日関東財務局長に提出

3【四半期報告書又は半期報告書】

事業年度 第175期第2四半期（自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日）平成24年11月13日関東財務局長に提出

4【四半期報告書又は半期報告書】

事業年度 第175期第3四半期（自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日）平成25年2月13日関東財務局長に提出

5【臨時報告書】

上記1の有価証券報告書提出後、本発行登録追補書類提出日（平成25年3月7日）までに、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第9号の2の規定に基づく臨時報告書を平成24年6月15日に関東財務局長に提出

第2【参照書類の補完情報】

上記に掲げた参照書類としての有価証券報告書及び四半期報告書（以下有価証券報告書等という。）に記載された「事業等のリスク」について、当該有価証券報告書等提出日以後、本発行登録追補書類提出日（平成25年3月7日）までの間において生じた変更その他の事由はありません。

また、当該有価証券報告書等に記載された「対処すべき課題」について、当該有価証券報告書等提出日以後、本発行登録追補書類提出日までの間において生じた変更は以下のとおりであります。変更箇所は_____ 罫で示しております。

なお、当該有価証券報告書等には将来に関する事項が記載されておりますが、以下の記載に含まれる事項を除き、当該事項は本発行登録追補書類提出日現在においてもその判断に変更はなく、新たに記載する将来に関する事項はありません。また、当該将来に関する事項については、その達成及び将来の業績を保証するものではありません。

「対処すべき課題」

（前略）

平成24年度については、震災後の経済環境の変化による影響を受けるなど、引き続き厳しい事業環境が継続するものと想定しているが、コスト削減の徹底等により、連結営業利益については、830億円を見込んでいる。また、連結有利子負債額については、投資額・投資時期等の精査を徹底し、当連結会計年度末には前連結会計年度末に比べ680億円減少し、1兆1,836億円まで圧縮しているが、これを平成24年度末には更に1兆1,500億円まで抑制していくことを計画している。この結果、「連結有利子負債/EBITDA倍率」は、前連結会計年度末には同計画期間中のピークである9.8倍となっていたが、平成24年度末にはこれを8.2倍まで改善できる見通しとなっている。

（後略）

第3【参照書類を縦覧に供している場所】

阪急阪神ホールディングス株式会社本店

（大阪府池田市栄町1番1号）

阪急阪神ホールディングス株式会社本社事務所

（大阪市北区芝田一丁目16番1号）

株式会社東京証券取引所

（東京都中央区日本橋兜町2番1号）

株式会社大阪証券取引所

（大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

（注） 印は法定の縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜のため任意に設定したものです。

第四部【保証会社等の情報】

第1【保証会社情報】

1【保証の対象となっている社債】

第一部「証券情報」に掲げた阪急阪神ホールディングス株式会社第45回無担保社債（阪急電鉄株式会社及び阪神電気鉄道株式会社保証付）

2【継続開示会社たる保証会社に関する事項】

（1）【保証会社が提出した書類】

【有価証券報告書及びその添付書類】

事業年度 第191期（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）平成24年6月15日近畿財務局長に提出

【四半期証券報告書又は半期報告書】

事業年度 第192期中（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）平成24年12月21日近畿財務局長に提出

（2）【上記書類を縦覧に供している場所】

阪神電気鉄道株式会社本社

（大阪市福島区海老江一丁目1番24号）

3【継続開示会社に該当しない保証会社に関する事項】

阪急電鉄株式会社の情報については、平成24年6月15日に関東財務局長に提出した発行登録書及び平成25年2月13日に関東財務局長に提出した訂正発行登録書に記載されているため、記載を省略している。

第2【保証会社以外の会社の情報】

該当事項なし

第3【指数等の情報】

該当事項なし

第4【特別情報】

1【保証会社及び連動子会社の最近の財務諸表又は財務書類】

阪急電鉄株式会社の財務諸表は、平成24年6月15日に関東財務局長に提出した発行登録書に記載されているため、記載を省略している。